

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

令和7年度 事業計画

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	1	市民サービスの利便性の向上	重点施策	①	フロントヤード改革の実施
実施事業	1	行政手続のオンライン化の推進			
事業概要	行政手続きのオンライン化を図るため、オンライン上で各種申請ができるようサービスを導入し、随時対象手続きの拡大に努めます。				
期待効果	市民の利便性の向上が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kurashi/shinseishodownload/kanidensisinsei/keiei2202204121.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
オンライン申請の対象手続きの拡大、書かない窓口の仕組みの導入		オンライン申請の対象手続きの拡大		オンライン申請の対象手続きの拡大	



実施項目等	R7												R8					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
オンライン申請の対象手続きの拡大	適宜啓発・導入支援												各課照会	総括	懇話会			
条例に基づく手続きの実施状況の公開						●												

R7の取組で目指す成果等	R6.10.1時点で公開している手続き数64件から10件増を目指し、各所属に働きかけや導入支援を行います。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	公開している手続き数が、目標の10件増に対し、9件増となりました。(R7.10.1時点で73件)
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
今後、ニーズに応じて、手続きに伴うオンライン決済を現行の「手数料のみ」から、「使用料」や「諸収入」にも拡大していくことを検討する必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	施設管理所属

基本方針	1	市民サービスの利便性の向上	重点施策	①	フロントヤード改革の実施
実施事業	2	貸館予約システム			
事業概要	市が所有する施設について、窓口のみの利用申請（予約）の受付を、予約システムの導入・検討を行いオンライン化を図ります。段階的にシステムへの対応をしていき、将来的には貸館予約を行う施設すべてで対応できるよう調整を進めます。				
期待効果	市民の利便性の向上が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/sisetsuannai/shisetsuyoyaku/yoyaku.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
導入検討		予約システムの実装 運用開始		運用 未導入施設への実装検討	



実施項目等	R7												R8					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
システムの調達・構築に向けた調整	調達・構築・導入支援												各課 照会	総括	懇話会			
運用																		
周知・広報																		

R7の取組で 目指す成果等	年度中に12施設（社会体育施設（6施設）、文化施設（2施設）、公園施設（4施設）へシステムの実装を行います。
------------------	--

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	R8.3月に12施設へシステムの実装が完了しました。

新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等

今後の導入にあたっては、システム制約に基づき、導入を検討する施設において、システムに合わせた業務工程や規定等の見直し可否について検討を行った上で、メリットがあると考えられる施設を見極める必要があります。

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 部署	市民課
----------	-----

基本方針	1	市民サービスの利便性の向上	重点 施策	②	マイナンバーカードの普及促進・利用の促進
実施事業	3	マイナンバーカードの普及・啓発			
事業概要	マイナンバーカードの普及・啓発を進め、市民サービスの利便性の向上を図ります。				
期待効果	マイナンバーカードを活用した施策が利用できることにより、市民の利便性が向上し、また、行政事務の効率化が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kurashi/mynumber/shinsei/index.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
マイナンバーカードの普及・啓発		継続		継続	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
マイナンバーカードの普及・啓発	継続												各課 照会	総括	懇話会
マイナンバーカードの交付・更新	継続														
マイナンバーカード申請サポート事業	継続														

R7の取組で 目指す成果等	マイナンバーカードの利便性を周知し、普及・啓発することで、保有率82%をめざします。(R6年度末時点での保有率は81%)
------------------	--

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
5	会計年度任用職員を増員し、円滑な手続きを行うための窓口体制を整備するとともに、市役所へ来庁することが困難な方に向け「出張申請サポート事業」を実施するなど、マイナンバーカードの普及・啓発に努めた結果、カードの保有率は85.3%となりました。

新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等

マイナンバーカードの有効期間満了に伴うカード本体の更新や電子証明書の更新等の手続件数は、R7年度以降も周期的に増減を繰り返すことから、安定した窓口体制を継続していく必要があります。

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	市民課
部署	税務課

基本方針	1	市民サービスの利便性の向上	重点 施策	②	マイナンバーカードの普及促進・利用の促進
実施事業	4	コンビニ交付サービス			
事業概要	個人番号カードを利用して、全国のコンビニエンスストアに設置されている端末機で住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本や課税証明書などの諸証明の交付が受けられるサービスを平成28年10月から導入しています。				
期待効果	コンビニ交付サービスを利用することにより、諸証明を市役所の窓口に行かなくとも交付を受けることができるため、市民の負担が減少され、市民サービスの向上が期待できます。また、窓口を利用される方が減少し、市職員の事務の効率化および負担の軽減が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kurashi/mynumber/konbinikofu.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
コンビニ交付サービスの普及・啓発		継続		継続	



実施項目等	R7												R8				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
コンビニ交付サービスの普及・啓発	継続												各課 照会	総括	懇話会		

R7の取組で 目指す成果等	コンビニ交付サービスの利便性をさらに周知・啓発していきます。 コンビニ交付が可能な証明書発行件数に占めるコンビニ交付発行件数の割合 54% (R6年度の割合は53%)
------------------	--

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
5	窓口におけるコンビニ交付利用案内リーフレットの配布をはじめ、積極的な周知活動に努めた結果、R7年度のコンビニ交付率は、目標の54%を上回る56.4%を達成しました。さらに、R7年度からは庁舎内のマルチコピー機を2台で運用し、市民の利便性も向上しています。

新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等

マイナンバーカードの普及も保有率が85%を越えて一定行き渡った状態となり、コンビニ交付の増加率が鈍化しています。また、現在、戸籍の証明書については、本籍地および住所ともに草津市の方にしか発行できない状況であり、本籍地交付サービスの導入が求められています。

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 部署	会計課
----------	-----

基本方針	1	市民サービスの利便性の向上	重点 施策	③	公金収納チャネルの多様化
実施事業	5	キャッシュレス決済対応の推進			
事業概要	公金収納を現金以外にキャッシュレス決済での収納にも対応することで市民の方の利便性の向上を図ります。				
期待効果	市民の利便性の向上および地域社会のデジタル化の促進を図ることができます。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
-		キャッシュレス券売機の導入・運用		キャッシュレス券売機の運用 公金収納に係るeLTAXの活用	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
券売機導入・利用環境の整備	整備・導入											各課 照会	総括	懇話会	
運用（1か月間の試験運用含む）	運用														
周知・広報	周知・広報														

R7の取組で 目指す成果等	年度中に券売機の実装を行います。キャッシュレス決済の利用率が全体の5.0%程度となるよう、啓発を行います。
------------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
5	キャッシュレス決済利用者数の割合が目標の5%を上回る約20%の方がキャッシュレス決済を利用しています。

新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等

新しい券売機の操作に戸惑う市民の方もおられるため、券売機周囲の窓口課および総合窓口と連携して市民の対応を行う必要があります。

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 部署	学校政策推進課
----------	---------

基本方針	2	地域の課題解決	重点 施策	④	地域社会のデジタル化
実施事業	6	教育情報化推進事業			
事業概要	草津市学校教育情報化推進計画第2期計画に基づき、1人1台端末等の学校ICT機器の計画的な整備・更新を進めるとともに、クラウド活用、校務系・学習系のネットワーク統合および校務のロケーションフリー化を実現する教育ネットワークの構築、およびデータ連携基盤（ダッシュボード）機能を備えた校務支援システムの整備を行います。				
期待効果	校務や学習のデジタル化と、セキュリティを担保した効率的・効果的なデータ連携の実現により、新たな学習指導や学校経営の高度化、教職員の働き方改革の促進が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/keikaku/kyoikububunkasports/ICT_school_plan2022.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
<ul style="list-style-type: none"> 草津市学校教育情報化推進計画第2期計画策定 New草津型アクティブ・ラーニング推進 		<ul style="list-style-type: none"> 第2期計画評価および計画策定方針検討 1人1台端末、校務用端末等各機器更新 新教育ネットワーク構築 校務支援システム更新 		<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づく、新ネットワーク、システムを活用した教育DX推進 校務への生成AI活用促進 New草津型アクティブ・ラーニング推進 	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
草津市学校教育情報化推進計画策定方針検討	計画策定方針検討												各課 照会	総括	懇話会
ICT環境整備（1人1台端末更新、教員の校務用・指導用端末1台化、新ネットワーク構築、新校務支援システム導入）	入札・構築			運用開始											
学校への各種機器、システム等、新たなICT新環境での利活用支援	計画・導入研修			利活用支援支援											

R7の取組で 目指す成果等	文部科学省が示すGIGAスクール構想第2期や教育DXの方向性を注視しながら、本市の実態を踏まえた計画策定を進めます。また、ICT環境整備について、学校現場の負担を抑え、スムーズな導入を行います。
------------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	草津市教育情報化推進懇談会における外部委員からの意見も参考に進捗管理を行い、計画に基づき着実に各事業を実施し、目標達成項目が前年比で3項目増加しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
「草津市学校教育情報化推進計画第2期計画」の当初の計画期間は令和4年度から7年度まででしたが、国の計画更新時期に合わせ、令和9年度まで延伸して実施することとします。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 部署	農林水産課
----------	-------

基本方針	2	地域の課題解決	重点 施策	④	地域社会のデジタル化
実施事業	7	スマート農業の推進			
事業概要	国が推進しているスマート農業について、農業者のニーズや国の動向を注視しながら、情報収集・情報提供を行い、ICTの普及に努めます。				
期待効果	農作業の省力化が期待できます。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
農業者向けの研修会等の実施およびニーズ把握		研修会等の実施および施策の検討		研修会等の実施および施策の実施	



実施項目等	R7												R8				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
研修会等の実施					●												
施策の検討													各課 照会	総括	懇話会		

R7の取組で 目指す成果等	研修会等を通じてスマート農業に関する農業者への情報提供を行うとともに、R8以降の実施に向け施策の検討を行います。
------------------	--

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	スマート農業情報交換会を実施、農業者へスマート農業に関する情報提供を行うとともに施策に関するニーズ調査を行い、新たな補助制度について検討しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
新たな補助制度（草津市スマート農業推進事業費補助金）の活用を推進し、効果の検証を行った上、制度の見直しを検討していく必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 健康福祉政策課
部署

基本方針	2	地域の課題解決	重点施策	④	地域社会のデジタル化
実施事業	8	「健康管理アプリ」を活用したデジタルヘルスケアサービスの展開			
事業概要	市役所の健幸ステーションにアプリと連動可能なデジタル測定機器を設置し、健康状態の見える化を図ることで、生活習慣の改善に繋がっていきます。また、働き世代を中心に十分な運動習慣のない人や自身の健康状態や健康づくりに対する意識や関心が低い人が多くなっていることから、既存の健康管理アプリの活用もふまえながら、新たな健康管理アプリの導入も検討し、「デジタルヘルスケアサービス」の推進に取り組むことにより、健康無関心層の行動変容を促します。				
期待効果	市民の健康づくりに対する意識（健康リテラシー）を高め、行動変容を促すことにより、健康寿命の延伸（副次的効果として、医療・介護費用の抑制）が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/fukushikenko/hokenkenko/kenkozukuri/kenko220200618.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
<ul style="list-style-type: none"> 健康管理アプリ、環境整備等に係る調査、研究 健幸ポイント事業の制度設計 		<ul style="list-style-type: none"> 市役所の健幸ステーションにアプリと連動可能な血圧計、体組成計を設置 健康管理アプリの運用方法、活用方策（事業展開）等について検討 		<ul style="list-style-type: none"> 健幸ステーションの整備と利用促進 既存の健康管理アプリの活用および新たな健康管理アプリ導入の検討 	



実施項目等	R7												R8						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
市役所 健幸ステーションの整備 (アプリと連動可能な測定機器)					●														
健康管理アプリの運用方法、活用方策 (事業展開) 等について検討	→ 継続																		

R7の取組で 目指す成果等	市役所の健幸ステーションに健康管理アプリと連動可能な測定機器（血圧計、体組成計）を設置し、市民が気軽に自身の健康状態をチェック（健康状態の見える化）できる環境を整えます。
------------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	計画通り、市役所健幸ステーションに健康管理アプリと連動可能な測定機器（血圧計、体組成計）を設置しました。併せて、健康管理アプリについて先行他市の活用事例の調査を実施しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
既存の健康管理アプリである「BIWA-TEKU」について、令和8年度に滋賀県で新たな機能付与および実証実験が行われる予定であり、その動向を注視する必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	広報課
部署	全所属

基本方針	2	地域の課題解決	重点施策	⑤	効果的な情報発信の推進
実施事業	9	市ホームページおよびSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を活用した情報発信			
事業概要	市ホームページおよびSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を活用し、様々な情報を効果的かつ迅速に発信します。				
期待効果	効果的かつ迅速な情報発信が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/koho/sns/index.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
市ホームページおよびSNSの運用、R6.12～市長のAvatarによる動画配信開始、R7.3～地域情報発信アプリ		・市ホームページおよびSNSの運用 ・新たな情報発信ツールの調査研究 ・草津市メール配信サービスの機能拡張		・市ホームページおよびSNSの運用 ・新たな情報発信ツールの調査研究	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
市ホームページおよびSNSの運用	継続												各課 照会	総括	懇話会
新たな情報発信ツールの検討	継続														

R7の取組で目指す成果等	多様な情報発信ツールによる効果的かつ迅速な情報発信手段の拡大を目指します。
--------------	---------------------------------------

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	アクセシビリティやユーザビリティに配慮した市ホームページや、SNS（令和7年10月より運用開始したInstagramやLINE、X、Facebook）を活用し、より多くの方々に対して、効果的な情報発信に取り組みました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
ユニバーサルデザインに配慮したホームページの運用を行い、情報格差の解消に取り組む必要があります。また、市民に必要な情報をより迅速かつ効果的に発信できるよう、各SNSの特徴を生かした更なる活用を検討します。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	2	地域の課題解決	重点施策	⑤	効果的な情報発信の推進
実施事業	10	オープンデータカタログサイトへの市保有情報の公開推進			
事業概要	市保有情報は、非常に大切な市民の情報資産であることを踏まえ、非公開情報を除くすべての市保有情報を公開する取組（オープンデータカタログサイト）を進めます。				
期待効果	経済の活性化、データ活用による新ビジネスの創出、行政への信頼性・透明性の向上、公共サービスへの市民参加、および官民協働の推進が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/seisaku/dx/kusatsuopendata.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
サイト構築、データ掲載に向けた啓発		データ掲載、庁内への啓発 市民向け広報		データ掲載、庁内への啓発 市民向け広報	



実施項目等	R7												R8				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
データ掲載、庁内への啓発		●					●							●	各課 照会	総括	懇話会
市民向け広報	ホームページ、広報紙による周知																

R7の取組で目指す成果等	オープンデータカタログサイトにおけるデータ掲載の充実を図るため、利用者の利便性向上に向けた提供方法等の検討を行います。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	市保有データの公開を促進するため、全所属に対し二次利用可能なデータ掲載および更新の啓発を行い、カタログサイトの掲載数が前年度から掲載項目数が7項目、掲載データ数が225個増加しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
データ活用を促進し掲載数の充実を図るには、利用者の活用状況を分析しながら、引き続き庁内へ新たなデータ掲載に向けた啓発を行う必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 部署	経営戦略課
----------	-------

基本方針	2	地域の課題解決	重点 施策	⑥	デジタル・デバイド対策
実施事業	11	スマートフォン講座の実施			
事業概要	民間事業者と連携してスマートフォン講座を実施します。				
期待効果	高齢者等の電子機器の扱いが不慣れな方への支援を行います。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
民間事業者と連携した講座・相談会の実施		民間事業者と連携した講座・相談会の実施		民間事業者と連携した講座・相談会の実施	



実施項目等	R7												R8					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
事業の周知支援（広報・チラシ配布など）						○										各課 照会	総括	懇話会
事業の実施（民間事業者により実施）							○											

広報手段、
講座内容の調整

R7の取組で 目指す成果等	より多くのニーズに対応できるよう、機会の創出に向けた支援を行うとともに利用満足度の向上を図ります。
------------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	講座は延べ123名の受講で、満足度は10点満点中10～8点の評価が122名、相談会は延べ164名の参加で、満足度は「満足・やや満足」の評価が154名でした。また、昨年度の相談会参加人数の61名から大きく増加しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
国の民間事業者への支援制度が見直されることから、国が進める対策のフェーズを確認しながら、デジタルデバイド対策の方向性を見極め実施する必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	危機管理課・施設管理所属

基本方針	2	地域の課題解決	重点施策	⑥	デジタル・デバインド対策
実施事業	12	フリーWi-Fi環境の整備			
事業概要	フリーWi-Fiの整備に向けた各施設への啓発を行います。 また、災害発生時に誰もが利用できる公衆Wi-Fiアクセス回線として、民間事業者による地域BWA（Broadband Wireless Access）の環境整備を促進します。				
期待効果	新たに整備を進めることで、公共施設利用者の利便性の向上が図れます。 また、大規模災害が発生した場合に地域BWAの通信環境を整備することで、関係機関との連絡手段としてだけでなく、避難者の安否確認や情報入手の際にも活用が期待できます。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/citysales/odekakenavi/shokan-biwako-wifi.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
公共施設におけるフリーWi-Fiの整備促進		公共施設におけるフリーWi-Fiの整備促進 地域BWAの環境整備		公共施設におけるフリーWi-Fiの整備促進	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
公共施設におけるフリーWi-Fiの整備促進	導入支援												各課照会	総括	懇話会
地域BWAを活用した公衆Wi-Fiの環境整備	送信局の整備														

R7の取組で目指す成果等	公共施設におけるフリーWi-Fi整備の現状把握および導入に向けた支援を行います。また、避難者の安否確認や情報入手の際に活用できるよう、地域BWAの送信局の整備を進めます。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	市庁舎1階、さわやか保健センターにフリーWi-Fiの整備を行ったほか、設置を検討している所管課へ導入支援を行いました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
地域BWAを含めた災害時のネットワーク環境の確保については、先端技術の情報収集をしながら、最適な手法を検討する必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑦	先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
実施事業	13	AI・RPAの利用推進			
事業概要	業務効率化と経費削減を目的に、AI議事録、文章生成AIをはじめとしたAIツールやRPAの利活用を推進します。また、新たなツールについても、情報収集や利用の検証を行います。				
期待効果	生成AIなどの新技術の活用により業務の効率化や職員の負担軽減を図ることで、市民サービスの向上が期待できます。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
AI議事録、文章生成AIの活用 RPAの活用		AI議事録、文章生成AIの活用 RPAの活用・対象拡大 新たなAIツールの検証・検討		AI議事録、文章生成AIの活用 RPAの活用・対象拡大 新たなAIツールの検証・検討	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
AI議事録、文章生成AIの活用	継続利用												各課 照会	総括	懇話会
RPAの活用・対象拡大	活用に向けた相談や研修の実施														
新たなAIツールの検証・検討	随時情報収集や試験導入 予算化対応														

R7の取組で目指す成果等	AIツールやRPAの活用拡大により、職員の負担軽減を図ります。また、AI技術による業務の効率化や生産性の向上を目指す新技術について検証を実施し、費用対効果を見極め、導入を検討します。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	文章生成AIの利用件数は前年に比べ急速に拡大し、約46,000件となりました。主に文章校正や説明資料の要約、専門用語の解説などに使用されており、行政事務の効率化に繋がっています。RPAは新たにシナリオを13件作成し、AI議事録の活用と合わせて職員の業務時間を約3,700時間削減できました。

新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等

基幹系システム標準化の延期に伴い、引き続きシステム移行後のシナリオ再構築に関する検討を進める必要があります。生成AIについては新たにおうみ自治体クラウド協議会にて共同調達したため、令和8年度中にサービスの切替を行うこととしています。

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑦	先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
実施事業	14	先端技術の導入・活用			
事業概要	先端技術をはじめ業務の効率化や生産性の向上を目指す新技術について導入・検証を行い、DXの取組を推進します。				
期待効果	変化する社会のニーズに応じたさらなる市民サービスの向上や業務の効率化が期待できます。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
業務用ツールの実証・導入 申請書作成支援システムの導入		新たな業務用ツールの検討・検証 伴走支援等によるDXの取組の推進		新たな業務用ツールの検討・検証 伴走支援等によるDXの取組の推進	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
新たな業務用ツールの検討・検証・活用													各課 照会	総括	懇話会
伴走支援等によるDXの取組の推進	● 通知														

R7の取組で目指す成果等	先端技術による業務の効率化や生産性の向上を目指す新技術について検証を実施し、費用対効果を見極め、導入を検討します。また、経営戦略課による伴走支援等を行い、導入に向けた取組を推進します。
--------------	--

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	DX推進に係る伴走支援制度として、各所属の事務や新規事業等の相談体制を設け、27所属36件の相談に対応しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
伴走支援と並行し、職員課と連携し人材育成にも注力することで、各所属のDXの取組の自走化に向けた取組も今後検討する必要があります。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当 部署	上下水道施設課
----------	---------

基本方針	3	行政運営の効率化	重点 施策	⑦	先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
実施事業	15	人工衛星を活用した水道管の漏水調査			
事業概要	漏水箇所の早期発見に向けて、人工衛星による観測データ解析を活用することにより、市内全域で漏水の可能性のあるエリアを絞り込み、そのエリアを重点的に調査員による詳細調査を行うことで、これまで発見できなかった漏水箇所を早期に発見し、修繕を行います。				
期待効果	早期に漏水箇所を発見することができるため、大規模漏水の未然防止や、高有収率※の維持が確保され、安全安心な水道水の安定供給を図ることが期待できます。 ※有収率…浄水場から供給した水量に対して料金として収入になった水量の割合				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
導入検討		人工衛星での調査 現地調査(詳細調査)		現地調査(詳細調査) 調査手法の検証・検討	



実施項目等	R7												R8						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
人工衛星を活用した水道管の漏水調査				人工衛星での調査													各課 照会	総括	懇話会

R7の取組で 目指す成果等	効率的に漏水を発見し、大規模漏水の未然防止や有収率の維持を図ります。
------------------	------------------------------------

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	従前、市内全域の本管全延長を対象に、調査員による現地での漏水調査を実施しましたが、人工衛星の活用により、現地での漏水調査が必要な本管延長について全延長の約5分の1に絞り込み、当初の予定どおり現地での漏水調査に要する期間を5年から1年半に短縮したため、漏水調査業務の効率化が実現できました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
人工衛星による調査後、市内全域から抽出した漏水の可能性のある全エリアのうち、約半数のエリアについて調査員による現地での漏水調査を実施したところ、実際に発見された漏水件数が想定よりも少ないことが判明しました。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	職員課
部署	全所属

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑦	先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
実施事業	16	テレワークの活用			
事業概要	育児や介護などの事情を抱える職員の増加が見込まれることに加え、web会議や出張時にテレワークを活用することで、職員の多様で柔軟な働き方を推進し、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ることを目的としてテレワークの活用を進めます。				
期待効果	職員の多様で柔軟な働き方を推進し、ワーク・ライフ・バランスの実現が期待できます。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
テレワーク制度を導入後、R6に要件緩和を行い、職員の更なる多様で柔軟な働き方を推進しました。		取り組みを継続し、職員の多様で柔軟な働き方を推進します。		継続	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
テレワークの活用	活用												各課 照会	総括	懇話会
利用促進	実施(随時)														

R7の取組で目指す成果等	テレワークを活用した、多様な働き方を推進します。
--------------	--------------------------

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	R6.8月の要件緩和および制度周知による利用促進を図ったことにより、前年度と比較して、利用人数が69人(93人⇒162人)、利用延べ日数が212日(354日⇒566日)増加しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	職員課
部署	経営戦略課

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑦	先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
実施事業	17	職員のICT知識およびツールの利活用能力の向上に向けた研修			
事業概要	データの利活用をはじめ、ICTの専門的知識や利用技術を活用し、事業や業務プロセス・サービスを変革することのできる職員の育成に向け、研修等の手法を用いた計画的育成に取り組みます。				
期待効果	職員のICTの専門知識や利用技術を向上させるとともに、ICTを活用したDX推進を図ることのできる職員の育成を行い、安定した行政運営の一助とします。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
データ利活用した政策形成実践研修		研修の実施 DX推進員の育成		継続	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
政策形成実践研修	実施												各課 照会	総括	懇話会
DX推進員の育成	実施														
DX研修	実施														

R7の取組で目指す成果等	政策形成実践研修について、職員のデータ利活用能力の向上を図ります。また、全庁的にDXを推進するにあたり、DX推進員を対象に研修による育成を図るとともに、DX研修を通じて職員のICT・DXの知識やスキルの向上を図ります。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	政策形成研修（現任職員（2部）研修）を活用し、データを活用した政策形成能力の向上を図るとともに、DX研修やDX職場研修を通じ、知識やスキルの向上、人材育成を図りました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	職員課
部署	経営戦略課

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑦	先端技術の導入および活用できる人材の育成・確保
実施事業	18	DXの専門性を持った外部人材の登用			
事業概要	ICTおよび革新的技術の活用とDXを推進するために必要となる専門性を確保し、市民の利便性の向上や業務効率化により人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていけるよう、外部人材の登用を含めた体制の構築を検討します。				
期待効果	ICTおよび革新的技術の活用し、事業者業務プロセス・サービスを変革するDXを推進します。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
他市事例を参考に検討を行い、外部人材の登用・活用を行いました。		外部人材の活用 DX推進支援体制の充実		継続	



実施項目等	R7												R8				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
外部人材の活用	活用												各課照会	総括	懇話会		

R7の取組で目指す成果等	各所属のDX推進に向けた取組への専門的な知見に基づく支援を実施するなど、引き続き外部人材の活用を行います。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	非常勤特別職として外部人材を引き続き登用し、行政事務・手続きの情報化等に関して必要な助言を得ることで、ICTおよび革新的技術の活用とDXの推進を図りました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	3	行政運営の効率化	重点 施策	⑧	情報システムの標準化・共通化
実施事業	19	情報システムの標準化推進			
事業概要	システム導入や更新時において、標準パッケージシステムの利用やクラウド化などの手法により、業務運用の標準化や経費節減に努めます。 また、国の進める基幹系システムの標準化に対応するため、標準準拠システムへのシステム移行を行います。				
期待効果	円滑で効率的な運用によるシステム経費の削減および標準パッケージシステム利用による業務運用の標準化が期待できます。				
URL	-				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
おうみ自治体クラウド協議会による共同調達の推進 基幹系システム標準化への対応		基幹系システムの標準準拠システムへの移行対応 各種システム等の共同調達の検討		標準準拠システムの運用 各種システム等の共同調達の検討	



実施項目等	R7									R8				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
基幹系システムの標準化への対応	移行対応					新システム運用			各課 照会	総括	懇話会			
各種システム等の共同調達の検討	調査・検討													

R7の取組で 目指す成果等	原則令和7年度中に対応が必要な基幹系システムの標準準拠システムへの移行を確実にを行います。また、協議会での共同調達による経費削減を推進します。
------------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	システム事業者からの申し入れにより、令和7年度中の安定稼働が困難になったことから、移行が必要な20業務のうち、17業務は令和8年度以降に対応を延期しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
システム開発元事業者の状況も踏まえて、令和8年度中の移行対応に向けて関係機関との調整を進めます。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑨	セキュリティ対策の徹底
実施事業	20	セキュリティポリシーの見直しおよびセキュリティ研修の実施			
事業概要	国が示す最新のガイドラインをもとにセキュリティポリシーを適切に見直すとともに、全職員へのセキュリティ研修を徹底します。				
期待効果	職員全体のセキュリティに関する意識や理解度を高め、適切なセキュリティ体制を確保します。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/seisaku/dx/cybersecurity.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
国のガイドライン改訂に合わせたポリシーの見直し検討 セキュリティ研修の実施		継続		継続	



実施項目等	R7												R8		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
ポリシーの見直し検討			見直し検討 必要に応じて改定										各課 照会	総括	懇話会
全職員を対象としたセキュリティ研修の実施							研修内容 検討		研修実施						

R7の取組で目指す成果等	職員全体のセキュリティに関する理解度と意識の向上に努め、セキュリティインシデントの発生件数を0件にします。
--------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	セキュリティ研修を通して職員全体の理解度と意識の向上に努めたものの、セキュリティインシデントが2件発生しました。
新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等	
個人情報取り扱いの重要性の再認識を図るため、セキュリティポリシー等の研修を引き続き実施し、セキュリティ意識の徹底に努めます。	

草津市DXアクションプランの取組に係る工程表

担当	経営戦略課
部署	全所属

基本方針	3	行政運営の効率化	重点施策	⑩	デジタル原則を踏まえた規制の点検・見直し
実施事業	21	アナログ規制点検・見直し			
事業概要	令和7年度から取組を開始する「第2期草津市行政経営改革プラン（令和7年度～令和10年度）」に基づき、「対面」や「書面」等を前提としたアナログ的な規制や手続について、国が示すマニュアル等を踏まえながら、全庁的に点検・見直しを行います。				
期待効果	規制の趣旨や目的を損なうことなく、デジタル技術の導入等により規制を合理化できるものについて見直しを行うことにより、市民サービスの向上や行政運営の効率化を図ります。				
URL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/gyoseijoho/kaikaku/keiei1202603221.html				
R6までの実施内容		R7の実施内容		R8以降の取組(予定)	
—		条例等を対象とした規制の洗出し 規制の見直しの検討		規制の見直し（条例等の改正、運用の変更、デジタル技術の導入等）	



実施項目等	R7												R8			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
条例等を対象とした規制の洗出し			洗出（委託を予定）											各課 照会	総括	懇話会
規制の見直しの検討							検討									

R7の取組で 目指す成果等	国のマニュアルを踏まえ、本市における条例や規則等を対象に、規制の点検およびデジタル技術の導入等を見据えた規制の見直しの検討を行い、見直しに係る工程表を策定します。
------------------	---

期末評価

実績の検証評価	左記の状況・理由等
4	条例や規則等において、デジタル化を阻害しているアナログ的な手法を前提とした規制や手続について、国が示すマニュアル等を踏まえ、663項目に関する全庁的な点検を行い、122項目の見直しに係る工程表を作成しました。

新たに生じた課題や特に留意すべき状況の変化等

引き続き現場の実態を踏まえ、工程表による見直し内容を精査し、見直しの実施を行うとともに、着実に見直しが行えるよう進捗状況の確認や継続検討とした項目のフォローアップを行う必要があります。